

令和7年度（第2回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和7年11月19日（水）

11：20～12：00

場 所：市庁舎5階 プレゼンルーム

1 事業内容説明・内部評価結果について

【事前評価2】太刀浦第1コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業

～事業課から資料4・資料5・資料6に基づき説明～

2 質疑応答について

○構成員

事業自体は必要なものかと思いますので、意見はありませんが、せっかく能力が上がるということです、ポートセールスに力を入れていただき、さらに収益が増えるような取組みをしていただけるとよいと思います。また、能力が上がることを契機に、市内の産業振興をセットでやっていくということも必要かと思います。よくあるパターンとして、港湾を担当する部署と、産業振興を担当する部署があまり連携できていないというようなことがあります。このあたりも少し検討していたいて、港湾の機能強化を市の産業振興にもつなげていただきたいと思います。

○構成員

同じような話になってしまいましたが、スライド35枚目の事業の有効性について、港湾整備部としてはこれが直接効果だということは十分理解できますが、市民の視点から見ると、この副次的効果として書かれていることこそが重要であって、“こそ重要”と言うと語弊があるかもしれませんが、そのためには港湾整備部が取り組まれるこの事業が必要不可欠だというのが非常に説得性の高い説明ではないかというふうに思います。そういった意味では、直接的効果と副次的効果の説明の仕方として、副次的効果はある意味目指すべき姿であって、そのためにはこういう直接的効果を得られる取組みが必要だということが、市民の理解を得られる説明なのではないかと思います。

また、スライド33枚目の事業の必要性③についてですが、実際にコンテナの処理能力が高まるということは非常に重要だと思いますし、それがないと、産業の更なる集積や取扱量増加がないということは十分理解できると思いますが、実際に処理能力を高めてそれに見合った需要があるかどうかというのは、この資料の中でははっきりとはわかりません。もちろん、処理能力を高めると取り扱う荷物は増えるでしょうし、北九州では自動車産業をはじめとしてある意味追い風が来ているという状況でもあると認識しています。一方で、国際情勢や海外との色々な関係

性の中で確固たる需要の見通しというのはなかなか言えない部分ではあるかとは思いますが、今後市民の皆様にご理解をいただくためには、これは特別会計の事業だから一般会計と違うという部分も含め、いかにこの取組は必要性があり、なおかつ事業単体で見ても黒字の見通しが立つということをわかりやすくご説明いただくということが重要なかと思われました。

○構成員

大型船の割合が増えているという説明がありましたが、今後、例えば6段積や7段積相当の船が増える可能性の有無はわかりませんが、10年近くかかる工事の中で5段積相当のクレーンでは能力不足になるということはありませんか。

●港湾空港局工事課

5段積の船はパナマックス船と言いますが、パナマ運河を通行できるサイズの船舶ですが、太刀浦に寄港できるのはこれが最大となっております。船の大きさは水深によって決まりますが、-12メートルの水深ではパナマックス船までとなり、現状では5段積相当の船までしか受け入れられません。もっと大きな船に来ていただくためには岸壁本体の改造や、あるいは水深をもっと深くするなどの様々な対応が必要となるため、コスト的に難しいことから5段積相当の計画としております。

○構成員

今の段階では受け入れられる限界が5段積ということですね。他の国際拠点港湾ではもっと大型のクレーンが設置されているのですか。

●港湾空港局工事課

例えば北九州港ですと、太刀浦は5段積相当ですが、ひびきコンテナターミナルにはもっと大きなクレーンがあり、6段積相当まで対応可能です。関門海峡の水深が-12メートルということもあり、太刀浦では現状以上の船を迎えるのは難しい状況です。

○座長

私から1点お尋ねします。設計で1年かかるというスライドがあり、年度として考えればそうなのかもしれませんが、工業規格製品なのに本当に1年もかかるのかという気がします。なぜ設計に1年もかかるのでしょうか。

●港湾空港局工事課

設計期間は仕様書の見直しを細かく行うための期間と位置付けています。現在、太刀浦第2コンテナターミナルのクレーン更新工事を行っており、ベースとなる仕様書はありますが、どんどん機器は新しくなっておりますので、各メーカーの機能を比較しながら仕様書に折り込んでいくという作業を行います。それが実際に1年かかるか、と言うのはありますが、予算的な面もあり、1年としているところです。

○座長

わかりました。

それでは、今日欠席の委員の方々からご意見やご質問をお願いします。

●事務局

本日はご出席いただきまして事前にご説明をさせていただき、そこでいくつかご意見いただきましたので、ご紹介させていただきます。

まず、使用料収入によって事業費を賄っていくとのことなので、収支予測がいかにきちんとされているかが大事というご意見、

続いて、クレーンの効率が上がることは労働者のためにもなるというご意見、

最後に、事故がないよう、また港がクローズになることがないよう細心の注意を払って工事を進めていただきたい、といったご意見をいただいております。

○座長

収益の話は先ほどご意見がありましたし、あとは工事の安全といったところかと思えます。

それでは、他に追加の意見などはなかったでしょうか。

////////////////////////////////////

○座長

他に意見がないようなので確認させていただきますが、この事業を計画通り進めていくことに対してご異議やご意見はありませんでしょうか。

(意義なし)

それでは、計画通り進めていくことを前提とした上で、検討会議としての意見を整理したいと思います。

まずは、クレーン更新後の運用において、しっかり収益が出るということ、そしてそれが北九州の産業に繋がるということ、部署を跨いで横断的・全庁的にしっかりと体制を整えて検討していただきたいということです。北九州市の雇用の話もありますし、人口の話もありますので、こういう大きなプロジェクトがそういったものに貢献するということを全庁的に考えていただきたいと思います。

また、産業の発展や雇用の拡大といった副次的効果を市民に説明することも、市民の理解を得る上で重要だというご意見もいただいたかと思えます。間接的な効果については明解に言いにくいところもあるとは思いますが、工夫して説明していただきたいと思います。

最後に、ターミナルの機能が停止する期間がないよう現場での工事は慎重に行っていただくとともに、また、更新工事によって一時的に荷役効率が低下する期間はあるだけ短くなるよう努めていただきたいと思います。

以上を検討会議の意見とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか？

(異議なし)

ありがとうございます。

意見の具体的な記載内容につきましては、座長の私が事務局と調整させていただきます。

以上